

平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年9月5日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7265 URL http://www.eiken-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第3四半期の業績(平成27年11月1日～平成28年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----------------|------|----------------------------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年10月期第3四半期 | 3,819 | △3.1 | 288 | △6.5 | 301 | △6.8 | 209 | △2.4 |
| 27年10月期第3四半期 | 3,940 | 4.3 | 308 | 49.2 | 323 | 46.8 | 214 | 48.9 |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 28年10月期第3四半期 | 41.70 | | — | | | | | |
| 27年10月期第3四半期 | 42.74 | | — | | | | | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年10月期第3四半期 | 5,234 | 4,120 | 78.7 |
| 27年10月期 | 5,270 | 4,024 | 76.4 |

(参考) 自己資本 28年10月期第3四半期 4,120百万円 27年10月期 4,024百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年10月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |
| 28年10月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年10月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,300 | 0.0 | 387 | △3.2 | 407 | △3.2 | 272 | △5.2 | 54.28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 28年10月期3Q | 6,200,000株 | 27年10月期 | 6,200,000株 |
| 28年10月期3Q | 1,182,486株 | 27年10月期 | 1,182,486株 |
| 28年10月期3Q | 5,017,514株 | 27年10月期3Q | 5,017,672株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策及び日本銀行の金融政策等により、緩やかながら回復基調がみられましたが、英国のEU離脱決定を受けての円高・株安による影響、新興国等の経済の減速等、景気の先行きは不安定な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、純正メーカーの交換用フィルターの販売攻勢が強いこと、ガソリンスタンドの減少及びセルフ化の影響で販売数量は減少しております。また、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されており、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にありました。

このような環境のなかであって、当社はフィルター部門において国内では、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、新規取引先の開拓にも取り組みました。輸出では、主要輸出先への営業活動を強化すると共に、新規輸出先の開拓にも取り組みました。さらに、燃焼機器部門では、新規バーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販に注力してまいりました。しかしながら、原油価格の下落等で当社の主要取引先国の経済が停滞したため、海外市場が低迷する影響を受けました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億20百万円減少し、38億19百万円（前年同四半期比3.1%減）、売上高が減少したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ20百万円減少し、2億88百万円（前年同四半期比6.5%減）、経常利益は前年同四半期に比べ21百万円減少し、3億1百万円（前年同四半期比6.8%減）、四半期純利益は前年同四半期に比べ5百万円減少し、2億9百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は商社向けが増加しましたが、同業者向けが減少しました。輸出売上はヨーロッパ及び東南アジア向けが減少しました。営業利益に関しては、売上高が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億35百万円減少し、35億70百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は前年同四半期に比べ18百万円減少し、4億20百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、バーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ13百万円増加し、2億47百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ3百万円増加し、30百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ73万円増加し、1百万円（前年同四半期比93.3%増）、営業損失は34万円（前年同四半期は営業損失80万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて1億9百万円減少し、31億4百万円(前事業年度末比3.4%減)となりました。主な要因は、電子記録債権制度を主要取引先が採用したことにより電子記録債権が1億60百万円増加したものの、借入金を返済したこと及び税金の支払いをしたことにより現金及び預金が1億48百万円減少したこと、売上が減少したことにより受取手形及び売掛金が1億19百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて74百万円増加し、21億30百万円(前事業年度末比3.6%増)となりました。主な要因は、時価が下落したことにより投資有価証券が50百万円減少したものの、新たに保険を契約したことにより保険積立金が1億10百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて35百万円減少し、52億34百万円(前事業年度末比0.7%減)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて1億25百万円減少し、9億27百万円(前事業年度末比11.9%減)となりました。主な要因は、賞与引当金が51百万円増加したものの、借入金を返済したことにより短期借入金が1億円減少したこと及び税金の支払いをしたことにより未払法人税等が48百万円減少したこと、未払消費税が21百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて4百万円減少し、1億87百万円(前事業年度末比2.5%減)となりました。主な要因は、退職給付引当金が14百万円増加したものの、繰延税金負債が16百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて1億30百万円減少し、11億14百万円(前事業年度末比10.5%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて95百万円増加し、41億20百万円(前事業年度末比2.4%増)となりました。主な要因は、時価の下落によりその他有価証券評価差額金が23百万円減少したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が90百万円減少したものの、四半期純利益を2億9百万円計上したことにより利益剰余金が1億18百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月期の業績予想に関する事項につきましては、平成27年12月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年10月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年7月31日) |
|-------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,107,665 | 958,835 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,360,955 | 1,241,683 |
| 電子記録債権 | 36,899 | 196,950 |
| 商品及び製品 | 461,916 | 470,880 |
| 仕掛品 | 32,551 | 28,815 |
| 原材料及び貯蔵品 | 153,338 | 161,678 |
| その他 | 61,891 | 46,747 |
| 貸倒引当金 | △1,413 | △1,441 |
| 流動資産合計 | 3,213,805 | 3,104,151 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 745,101 | 727,007 |
| その他(純額) | 927,334 | 953,537 |
| 有形固定資産合計 | 1,672,436 | 1,680,545 |
| 無形固定資産 | | |
| | 4,727 | 9,069 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 380,120 | 442,033 |
| 貸倒引当金 | △825 | △900 |
| 投資その他の資産合計 | 379,295 | 441,133 |
| 固定資産合計 | 2,056,459 | 2,130,748 |
| 資産合計 | 5,270,264 | 5,234,900 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年10月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年7月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 247,026 | 267,581 |
| 短期借入金 | 390,000 | 290,000 |
| 未払法人税等 | 101,416 | 52,658 |
| 賞与引当金 | 27,594 | 79,324 |
| その他 | 287,023 | 237,655 |
| 流動負債合計 | 1,053,059 | 927,220 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 129,376 | 143,756 |
| 役員退職慰労引当金 | 4,386 | 4,386 |
| 資産除去債務 | 10,173 | 10,173 |
| その他 | 48,338 | 29,125 |
| 固定負債合計 | 192,274 | 187,441 |
| 負債合計 | 1,245,334 | 1,114,661 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 601,800 | 601,800 |
| 資本剰余金 | 389,764 | 389,764 |
| 利益剰余金 | 3,493,626 | 3,612,545 |
| 自己株式 | △521,685 | △521,685 |
| 株主資本合計 | 3,963,505 | 4,082,424 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 61,424 | 37,814 |
| 評価・換算差額等合計 | 61,424 | 37,814 |
| 純資産合計 | 4,024,930 | 4,120,238 |
| 負債純資産合計 | 5,270,264 | 5,234,900 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 3,940,121 | 3,819,265 |
| 売上原価 | 3,196,125 | 3,093,420 |
| 売上総利益 | 743,995 | 725,845 |
| 販売費及び一般管理費 | 435,302 | 437,362 |
| 営業利益 | 308,693 | 288,482 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 416 | 939 |
| 受取配当金 | 5,425 | 5,397 |
| 受取賃貸料 | 11,110 | 11,635 |
| その他 | 3,666 | 3,724 |
| 営業外収益合計 | 20,619 | 21,696 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,964 | 1,407 |
| 売上割引 | 2,277 | 2,081 |
| 投資有価証券評価損 | 1,540 | 3,575 |
| その他 | 12 | 1,441 |
| 営業外費用合計 | 5,794 | 8,504 |
| 経常利益 | 323,518 | 301,673 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 49 |
| 投資有価証券売却益 | — | 12,446 |
| 補助金収入 | 11,681 | 9,927 |
| 保険解約返戻金 | — | 510 |
| 特別利益合計 | 11,681 | 22,933 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 1,273 |
| 固定資産除却損 | 464 | 3,981 |
| 投資有価証券評価損 | — | 3,342 |
| 特別損失合計 | 464 | 8,597 |
| 税引前四半期純利益 | 334,735 | 316,010 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 146,124 | 127,423 |
| 法人税等調整額 | △25,848 | △20,646 |
| 法人税等合計 | 120,275 | 106,776 |
| 四半期純利益 | 214,459 | 209,233 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 損益計算書 計上額 (注3) |
|---------------------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | フィルター 部門 | 燃焼機器 部門 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 3,570,142 | 247,601 | 3,817,743 | 1,522 | 3,819,265 | — | 3,819,265 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,570,142 | 247,601 | 3,817,743 | 1,522 | 3,819,265 | — | 3,819,265 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 420,087 | 30,331 | 450,419 | △ 346 | 450,073 | △161,590 | 288,482 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上